

東北地方 1か月予報

(10月26日から11月25日までの天候見通し)

平成14年10月25日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

寒気の影響を受けやすく、2週目を中心に気温が平年より低い日が多いでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

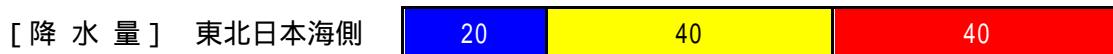
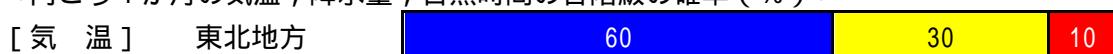
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

寒気の影響を受けやすく、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は低く、降水量は東北日本海側は平年並が多く、東北太平洋側は平年並、日照時間は東北日本海側は少なく、東北太平洋側は平年並でしょう。

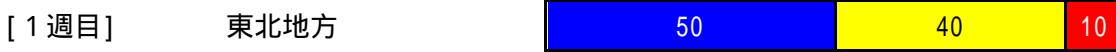
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに低い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 10月26日(土)～11月25日(月)

1週目 : 10月26日(土)～11月 1日(金)

2週目 : 11月 2日(土)～11月 8日(金)

3～4週目 : 11月 9日(土)～11月22日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は11月1日

3か月予報：11月20日(水)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	9.2	111.7	146.8	11.3	10.2	8.2
新庄	7.3	195.7	73.5	9.6	8.2	6.3
若松	8.1	75.8	98.9	10.3	9.1	7.1
深浦	8.6	153.9	84.2	10.9	9.7	7.5
青森	7.6	134.1	105.6	10.0	8.7	6.4
むつ	7.4	118.6	120.8	9.7	8.4	6.2
八戸	7.7	71.1	147.1	10.1	8.8	6.6
秋田	8.7	186.8	99.4	11.0	9.7	7.6
盛岡	6.7	99.8	128.4	9.1	7.8	5.7
宮古	8.7	88.8	154.4	10.7	9.7	7.8
酒田	10.0	220.7	95.7	12.2	10.9	9.0
山形	8.2	80.1	110.6	10.5	9.2	7.2
仙台	10.2	73.8	149.9	12.3	11.1	9.1
石巻	9.4	74.2	157.3	11.7	10.5	8.3
福島	10.0	68.2	138.3	12.2	11.0	9.0
白河	8.6	68.9	152.8	10.7	9.7	7.6
小名浜	11.8	97.1	166.0	13.8	12.7	10.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.6	81~111	96~104
東北日本海側	-0.3~+0.5	93~107	94~105
東北太平洋側	-0.4~+0.6	68~116	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.8	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.7	-0.4~+0.4
東北太平洋側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年10月25日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(10月26日～11月25日)：

寒気の影響を受けやすく、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

1週目(10月26日～11月1日)：

26日から27日にかけて低気圧の影響で天気がくずれ、荒れた天気となる見込みです。その後は東北日本海側では寒気の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北太平洋側ではおおむね晴れるでしょう。

なお、山沿いでは雪となる所があるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2週目(11月2日～11月8日)：

寒気の影響を受けやすく、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

3～4週目(11月9日～11月22日)：

天気はおおむね周期的に変わりますが、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年同様に晴れの日が多い見込みです。

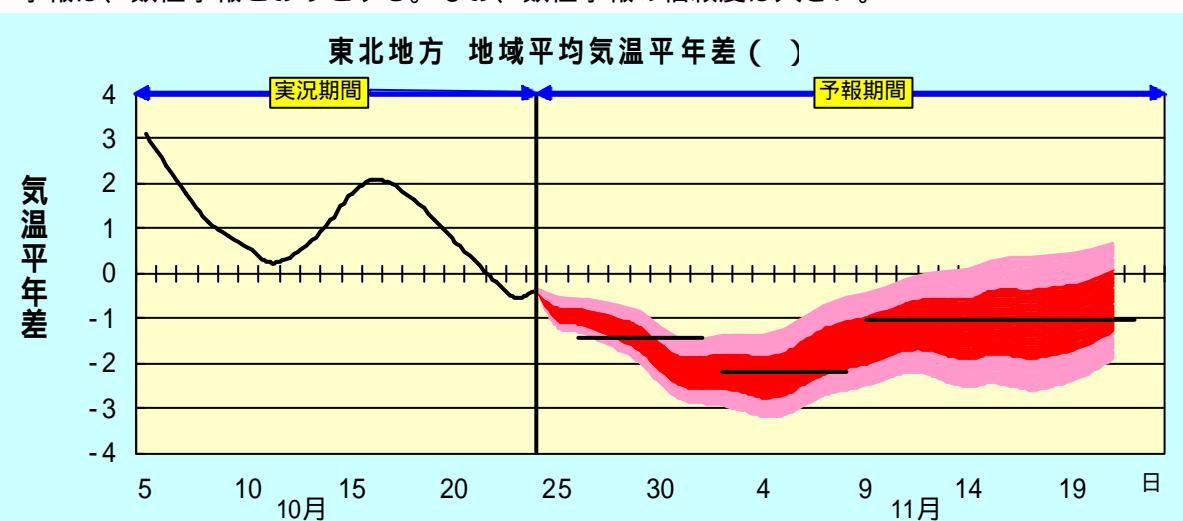
平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数

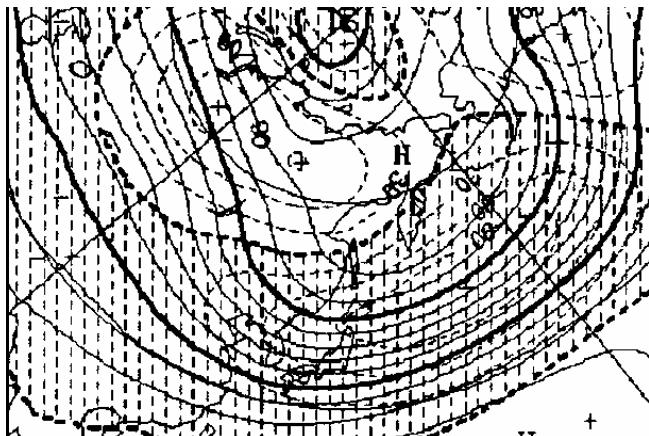
	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	9.8日	2.8日	3.1日	3.9日
東北太平洋側	16.6日	4.1日	4.5日	8.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに「低い」を予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

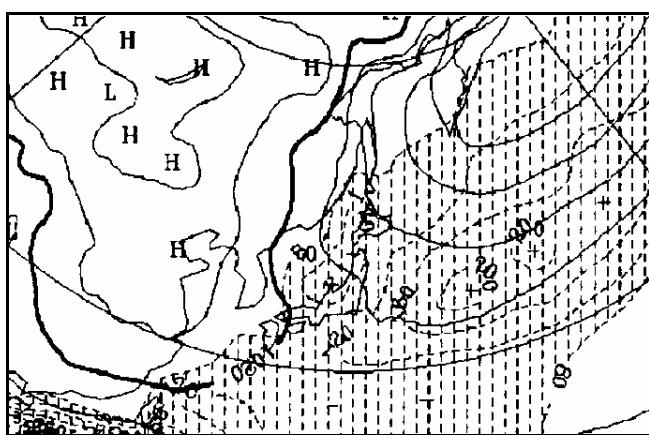


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度 · 偏差

月平均で見ると、シベリアに強い正偏差があるが、極東中緯度帯は日付変更線から北日本を中心をもつ負偏差に広く覆われ、東北地方は寒気の影響を受けやすい見込み。

週別（図略）では、期間を通して極東中緯度帯は負偏差に覆われるが、1週目は負偏差の中心が日本海にある。2週目以降、負偏差の中心は日本の東海上に移り、東北地方は寒気の影響を受けやすくなる見込み。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本の東に平年より強い低気圧部、中国大陸に高気圧があり、日本付近には広く降水域が予想される。東北から北陸にかけての日本海側に降水の中心が見られる。

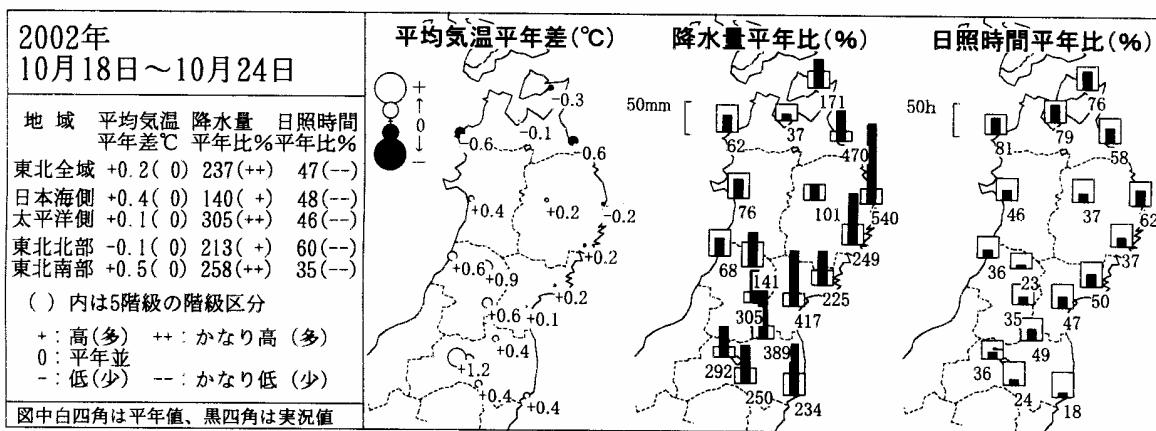
週別(図略)では、1週目は、北日本は低圧部で北海道に降水の中心がある。2週目以降は、月平均と同様で冬型の気圧配置が現れやすくなる。

4. 最近1週間(10月18日~10月24日)の天候の経過

この期間、18日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。21日は三陸沖を急速に発達しながら北東進した低気圧の影響により、東北太平洋側を中心に大雨となるなど、大荒れの天気となつた。

なお、24日には青森で初霜を観測した。

平均気温は、東北地方で平年差+0.2℃と平年並だった。降水量は、東北日本海側で平年比140%と多く、東北太平洋側で平年比305%とかなり多かった。日照時間は、東北地方で平年比47%とかなり少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）